

第52回 千葉県理容競技大会
RIYOヘアフェスティバルCHIBA '10
大会要項

1. と き 平成22年5月18日(火) 選手受付時間午前8時30分～9時00分まで
2. と こ ろ アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉 東京ベイ幕張ホール
3. 競技種目
- 【第1部門】 クラシカルカット・ファッションカテゴリー (全国大会競技種目)
従来からのクラシカルバックスタイルではなく、クラシカルカットの基本技術を活かし、時代的背景を踏まえ、デザイン性を重要視したスタイル。
- 【第2部門】 レディースカット・モードカテゴリー (全国大会競技種目)
新鮮さを感じさせる少し先の流行をとらえ、デザイン性を重要視した上品で女性らしいモードスタイル。
- 【第3部門】 TRICK (全国大会競技種目)
TRICKのイメージを十分に理解し、「リラックス&ラグジュアリー」が表現された、ア・シンメトリーなスタイル。
- 【第4部門】 ブロースカット(ウイック) (県大会競技種目)
- 【第5部門】 クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック) (県大会競技種目)
- 【第6部門】 トレンディースタイル(ウイックセット) (県大会競技種目)
- 【第7部門】 ロットワインディング(ウイック) (学生競技種目)
- 【第8部門】 ワンレングスカット(ウイック) (学生競技種目)
4. 競技時間
- | | | |
|--------|--------------------------|-----|
| 【第1部門】 | クラシカルカット・ファッションカテゴリー | 35分 |
| 【第2部門】 | レディースカット・モードカテゴリー | 35分 |
| 【第3部門】 | TRICK | 35分 |
| 【第4部門】 | ブロースカット(ウイック) | 35分 |
| 【第5部門】 | クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック) | 50分 |
| 【第6部門】 | トレンディースタイル(ウイックセット) | 25分 |
| 【第7部門】 | ロットワインディング(ウイック) | 30分 |
| 【第8部門】 | ワンレングスカット(ウイック) | 60分 |
5. モデル
- (1) 各部門とも下記に規定されたものとし、選手同伴とする。
- 【第1部門】 クラシカルカット・ファッションカテゴリー
- ① モデルは男性。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
 - ③ ヘアカラーリングを施していること。
 - ④ カット以外の事前処理は自由。
- 【第2部門】 レディースカット・モードカテゴリー
- ① モデルは女性。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。
 - ③ ヘアカラーリングを施していること。
 - ④ カット以外の事前処理は自由。
- 【第3部門】 TRICK
- ① モデルは男性。
 - ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。

- ③ デザインポイントは8cm以上あること。
- ④ TRICKが提案するパーマ、カラーを施していること。

【第4部門】 ブロースカット(ウイック)

- ① メンズウイックを使用。クランプを持参すること。
- ② アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ③ 髪の長さは、フロント8cm以上、トップ6cm以上、裾周り3cm以上あること。

【第5部門】 クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック)

- ① メンズウイックを使用。クランプを持参すること。
- ② カラーリング以外の事前処理及び薬液処理を行っていないこと。

【第6部門】 トレンディースタイル(ウイックセット)

- ① モデルウイックを使用。男女どちらでも可。クランプを持参すること。
- ② カット済みのウイックを持参すること。
- ③ 事前処理全て自由。

【第7部門】 ロットワインディング(ウイック)

- ① モデルウイックを使用。クランプを持参すること。
- ② プレカット済みウイックを持参すること。

【第8部門】 ワンレングスカット(ウイック)

- ① モデルウイックを使用。クランプを持参すること。
- ② 5cm以上カットできるウイックを持参すること。
- ③ カラーリング以外の事前処理及び薬液処理を行っていないこと。

- (2) 競技出場の所定の時間に集合し、モデル審査を受けるものとする。
- (3) 頭部全体のいずれかの一部分(約2cm²)の毛髪2cmのカットをモデル審査委員により受けるものとする。
- (4) 洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態でモデル審査を受けるものとする。
- (5) 毛髪を水スプレーで濡らすので、シャンプークロスを着用してモデル審査を受けるものとする(モデル審査入室後は、モデルと選手は接触できないものとする)。
- (6) メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

6. 選手数 制限無。

7. 出場資格 千葉県理容生活衛生同業組合員及びその従業員である理容師とする。
但し、第4部門、第5部門、第6部門は、理容学校在学中のもの(通信生を含む)の出場を認める。
但し、第7部門、第8部門は、理容学校在学中のもの(通信生を含む)に限定する。

8. 出場制限 出場は1人1部門とする。

但し、第7部門あるいは第8部門の出場者については、第4部門、第5部門、第6部門のいずれかひとつへの重複出場を認める。

9. 表彰 個人賞 各部門ごとに(優勝、2位、3位、敢闘賞若干名)を表彰する。

10. 出場申込 千葉県理容生活衛生同業組合所定の申込用紙に、必要事項を記入し、出場料を添えて申し込むこと。理容学生(通信生を含む)については在学期に申し込むこと。

11. 大会出場料

1～3部門	7,000円
4～6部門	6,000円
7～8部門	無料

12. 申込締切日 平成22年3月15日(月)(組合必着のこと)。
申込先 〒260-0033 千葉県千葉市中央区春日1-22-4
千葉県理容生活衛生同業組合

競 技 事 項

1. 競技種目に関する事項

【第1部門】

(1) 競技規定

クラシカルカット・ファッションカテゴリー

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ② クラシカルカットの基本技術を活かすこと。
- ③ 時代的背景を踏まえ、デザイン性を重要視したスタイルであること。
- ④ 仕上がりにおいての毛流れやタッチは自由であり、従来のクラシカルバックスタイルではないこと。

(2) 競技時間

カット、セット35分。

(3) 用 具

自由(但し、クリッパーは除く)。

(4) 整 髪 料

自由(但し、カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く)。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリーをモデルにつけること。
- ③ フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。

【第2部門】

(1) 競技規定

レディスカット・モードカテゴリー

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ② 新鮮さを感じさせるカットラインやタッチ、フォルムバランスを表現すること。
- ③ 少し先の流行をとらえ、デザイン性を重要視した上品で女性らしいモードスタイルであること。

(2) 競技時間

カット、スタイリング35分(ドライヤーやアイロン等の使用は自由)。

(3) 用 具

自由(但し、ホットカーラーは除く)。

(4) 整 髪 料

自由(但し、カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く)。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリーをモデルにつけること。
- ③ フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。

【第3部門】

(1) 競技規定

TRICK

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと。
- ② TRICKのベースカットのレイヤー、グラデーションの組み合わせによって作られる「フォルム」を表現すること。
- ③ 長さの変化(長短)がしっかりと分かる、ア・シンメトリーなデザインであること。
- ④ モデルの個性を活かし、バランスのとれた「似合わせ」がされていること。
- ⑤ プラントカットの良さが表現されつつ、セニングダウンカットによる毛先の軽さやなじみ、トリックラインカットによる大胆な動きが表現されていること。
- ⑥ テーマである「リラックス&ラグジュアリー」をイメージし、ヘアスタイルと衣装のトータルバランスがとれていること。

(2) 競技時間

ベースカット15分、質感カット及びスタイリング20分。

※競技開始15分以内にドライヤー、セニングシザーズを使用してはならない。

(3) 用 具

自由。

(4) 整 髪 料

自由(但し、カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものは除く)。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリーをモデルにつけること。
- ③ フロンガス入りスプレーを使用すること(フロンガス以外は可)。

【第4部門】

(1) 髪 型

ブロースカット(ウイック)

- ① スタンダードなブローヘアとする。
- ② 正面・左右の均衡。
- ③ 襟元にボカシがあり、ブロー特有のシルエット及び、ネープ、ネックラインの美しさを表現する(但し、全体に2cm以上のカットを行うものとする)。

(2) 競技時間

カット・セット35分。

(3) 用 具

自由。

(4) 整 髪 料

自由。

(5) 禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ガス入りスプレーを使用すること。
- ③ 競技中ウイックをクランプからはずすこと。
- ④ ヘアアクセサリーをモデルにつけること。

【第5部門】

(1) 髪 型

クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック)

- ① カットは総体的に2cm以上行うものとする。

- (2)競技時間 ② 伝統的なクラシカルバックスタイルであること。
- (3)用 具 ③ ネックラインを付けて後頭部に色彩を出すこと。
- (4)整 髪 料 カット・セット50分。但し、25分以内にセットに入ってはならない。
- (5)禁止事項 自由。
- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② アイロン類を使用すること。
- ③ ガス入りスプレーを使用すること。
- ④ ヘアアクセサリーをモデルにつけること。

【第6部門】

- (1)髪 型 **トレンディースタイル(ウイックセット)**
 - ① デザインに合わせたカット、カラーなど事前処理を済ませておくこと。
 - ② 少し先の流行をとらえたスタイルであること。
 - ③ アイロンの良さを活かしたスタイルであること。
- (2)競技時間 セットのみ25分。
- (3)用 具 ドライヤーほか自由。但し、アイロンは必ず使用すること。
- (4)整 髪 料 自由。
- (5)禁止事項 ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② ガス入りスプレーを使用すること。

【第7部門】

- (1)髪 型 **ロットワインディング(ウイック)**
 - ① 指定の配列であること。
 - ② 総体的にワインディングを行いロット60本以上使用すること。
- (2)競技時間 30分。
- (3)用 具 プレカット済みのウイックを使用すること。
- (4)整 髪 料 ペーパー(白)、ロット、輪ゴムを使用すること。種類は自由。
- (5)禁止事項 不可。
- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② 総体的にワインディングしないもの。
- ③ ウイックに印のあるもの。
- ④ 水以外のものを使用すること。

【第8部門】

- (1)髪 型 **ワンレングスカット(ウイック)**
 - ① ストレートヘアのワンレングススタイルでシンメトリーのプラントカットであること。
 - ② カットは総体的に5cm以上行うものとする。
- (2)競技時間 カット・セット通し60分。
- (3)用 具 プラントカット用具。
- (4)整 髪 料 セット用具自由。
- (5)禁止事項 不可。
- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルの頭部に触れること。
- ② 総体的に5cm以上カットしないもの。
- ③ レーザー、セニングシザー(スキバサミ)を使用すること。
- ④ ガス入りスプレーを使用すること。
- ⑤ ヘアアクセサリーをモデルにつけること。

2. 刈布・タオル、ウイック等の取扱い

- (1) ウイック競技は準備時間中にクランプを取り付け、ウイックを設置してもよいこととする(但しモデルの頭部に触れることは禁止)。
- (2) 1部～3部門ともすべて刈布、タオルは競技開始の合図後につけること(但し、タオル・シャンプークロスについては、モデル審査時に着用した状態のままでも競技場内に入場しても可とする。なお、競技開始1分前までには完全に外すこと)。
- (3) 4部～8部門は、刈布、タオルを使用しない。

3. 失格事項

- 次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。
- (1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
 - (2) 競技時間を超過した場合。
 - (3) 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
 - (4) 競技終了後、修正を行った場合。
 - (5) モデル審査を受けていないモデルを使った場合。

- (6) モデルに傷を与えた場合。
- (7) 各部門競技の禁止事項を守らない場合。
- (8) 刈布、タオルをつけていない場合(4部～8部門は除く)。

4. 競技完了の表示

- (1) 1部～3部門ともすべて競技完了の表示は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずし、手を挙げて行うこと。
- (2) 4部～8部門ともすべて競技完了の表示は、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。

審 査 事 項

1. 審査委員

審査委員は14名とし、うち1名が委員長、2名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し審査業務を行うものとする。

- (1) 委員長 審査委員を代表し、審査全般を監理するとともに、審査表(モデル審査表を含む)をそれぞれとりまとめ、精算委員長に提出するほか、この審査事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 副委員長 審査委員長を補佐し、審査委員長に事故ある時はその職務を代理する。
- (3) 委員 審査事項に定められた業務を行う。

2. 審査結果の発表

審査結果に関する発表は、すべて審査委員長がこれを行う。

3. 審査要項

〈審査の基準〉

【第1部門】 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

- ① クラシカルカットの基本技術を活かしているかをみる。
- ② ネックラインはシャープで、男性的であるかをみる。
- ③ 後頭下部にバランスのとれたナチュラルなぼかしがあるかをみる。
- ④ 時代的背景を踏まえ、デザイン性を重要視したスタイルであるかをみる。
- ⑤ 仕上がりにおいて従来のクラシカルバックスタイルではなく、毛流れやタッチが自由に表現されているかをみる。
- ⑥ デザインを効果的に表現したヘアカラーリングを施しているかをみる。

【第2部門】 レディースカット・モードカテゴリー

- ① 新鮮さを感じさせるカットデザインであり、カットとフォルムバランスの良さをみる。
- ② 少し先の流行をとらえ、デザイン性を重要視した上品で女性らしいモードスタイルであるかをみる。
- ③ デザインと調和のとれた上品でクオリティーの高いヘアカラーリングであるかをみる。

【第3部門】 TRICK

- ① TRICKのベースカットのレイヤー、グラデーションの組み合わせによって作られる「フォルム」が表現されているかをみる。
- ② 長さの変化(長短)がしっかりと分かる、ア・シンメトリーなデザインであるかをみる。
- ③ モデルの個性を活かし、バランスのとれた「似合わせ」がされているかをみる。
- ④ プラントカットの良さが表現されつつ、セニングダウンカットによる毛先の軽さやなじみ、トリックラインカットによる大胆な動きが表現されているかをみる。
- ⑤ テーマである「リラックス&ラグジュアリー」をイメージし、ヘアスタイルと衣装のトータルバランスがとれているかをみる。
- ⑥ TRICKが提案するパーマ、カラーが効果的に施されているかをみる。

【第4部門】 ブロースカット(ウイック)

- ① 正面、左右の均衡、カット技術をみる。
- ② ブロース特有のシルエットの美しさをみる。
- ③ ネープ、ネックラインの処理をみる。
- ④ 襟元のボカシの美しさをみる。

【第5部門】 クラシカルバック・ボンバージュセット(ウイック)

- ① シルエットはラウンドスクエアであるかをみる。
- ② 後頭部の色彩は、横一文字で、幅広で充分に刈り上げているかをみる。
- ③ 側頭部のカットの良さをみる。
- ④ 梳かし、クラシカルの規定になっているかをみる。

【第6部門】 トレンディースタイル(ウイックセット)

- ① 少し先の流行をとらえたスタイルであるかをみる。
- ② アイロンの良さを活かしたヘアスタイルであるかをみる。

【第7部門】 ロットワインディング(ウイック競技学生部門)

- ① 規定のロット配列であるかをみる。
- ② 規定以上のロット本数であるかをみる。
- ③ 総体的に仕上がりの綺麗さをみる。

【第8部門】 ワンレングスカット(ウイック競技学生部門)

- ① カットの正確さをみる。
- ② シンメトリー(左右均一)であるかをみる。
- ③ 総体的に仕上がりの綺麗さをみる。

【モデル審査】

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。
モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードによりモデルを通じて伝達する。

4. 審査時間

各部門とも参加人数により定めることとする(但し、モデル審査時間を除く)。

5. 審査委員打合せ

指定された日の審査委員打合せに出席しなければならない。

6. 採点および審査の方法

- (1) 採点はすべて100点満点制とし、所定の審査表により行う。
- (2) 得点数が同じときは、審査委員長がその順位を決定する(委員長の採点は精算に加えないものとする)。
- (3) 仕上り審査時のモデルについて、着席の有無に関わらずポーズは自由とする(但し、立ちポーズの場合は椅子の前に限る)。

7. モデル減点

モデル審査はその公正を期するため、5点以内のモデル減点を行うことができるものとする。

8. 審査表の取扱い

- (1) 審査委員は各審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を審査委員長に提出するものとする。
- (2) 不完全な審査表があった場合、審査委員長はその審査委員の採点をその部門を通じて無効とする。
- (3) 審査委員長は審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を精算委員長に提出するものとする。

9. その他

タイム票の取扱いは次によるものとする。

- (1) 監視委員は、タイム係りを兼任し、タイムをタイム票に記入し監視委員長に提出するものとする。
- (2) 監視委員長はタイム票をとりまとめ、審査委員長に提出するものとする。

監視事項

1. 監視委員

監視委員は9名とし、うち1名が委員長、1名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し監視業務を行うものとする。

- (1) 委員長 監視委員を代表し、監視業務全般を監理するほか、この監視事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 副委員長 監視委員長を補佐し、監視委員長に事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 委員 監視事項に定められた監視業務を行う。

2. 監視要項

- (1) 失格事項について監視するものとする。
- (2) 監視委員は各競技終了後、速やかに監視表とタイム票を監視委員長に提出するものとする。
- (3) タイム係りを兼任する。

3. 監視結果

監視結果について、監視委員長は必要に応じて、速やかに審査委員長に報告するものとする。

4. 監視委員打合せ

指定された日の監視委員打合せに出席しなければならない。

精 算 事 項

1. 精算委員

精算委員は5名とし、うち1名が委員長、3名が計算担当委員、1名が記録担当委員にあたるものとし、それぞれ次により分担し、精算業務を行うものとする。

(1) 委員長 精算業務全般を監理し、精算委員を代表するほか、この精算事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。

(2) 計算担当委員 精算における計算業務を監理し、その責に任じる。

(3) 記録担当委員 精算における記録業務を監理し、その責に任じる。

2. 精算要項

審査委員長より提出された審査表(モデル審査表を含む)をもとに、各選手の成績を精算するものとする。

3. 精算結果の報告

精算の結果は成績表にまとめ、精算委員長より審査委員長に報告するものとする。

選 手 の 留 意 事 項

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
2. 理容業の消毒衛生に基づき、選手は競技中に用具を落とした場合、挙手をし、監視委員の指示に従うこと。
3. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を遵守すること。
4. モデルは競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けなければならないので、選手はこの点モデルとよく打合せをしておくこと。なお、モデルはモデル審査を受ける際に毛髪を水スプレーで濡らすので、選手はモデルにタオルとシャンプークロスを持参させること。
5. モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場をとり消す場合がある。
6. 選手の椅子番号は大会当日、競技種目ごとに発表する。
7. 選手は清潔なユニフォームを着用し、左胸に「所属支部名」(布製タテ8cm・ヨコ12cm)を表示すること。
8. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオル、ウイック競技の場合はクランプを持参すること。
9. 選手の使用するハンドドライヤーの熱量は1キロワットまでとする。
10. 選手のモデル及び選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
11. 選手は大会当日の「表彰式」にユニフォームを着用し、モデルを同伴のうえ参加すること。
12. 選手は競技中に、手首から指先に一切の付属品を付けないこと。
13. 会場以外ではウイックは剥き出しで持ち歩かないこと。